

**第 55 回夏期シンポジウム**  
**テーマ：粒子集積構造の利用と制御（講演募集）**

**共 催：**日本セラミックス協会（予定）、化学工学会材料界面部会、粉体工学会粉体材料設計研究会、粉体工学会粉体グリーンプロセス研究会、粉体工学会不均質構造の利用と制御に関するワークショップ

**開催日：**2019年8月5日（月）～6日（火）、**講演申込締切** 4月26日（金）

**場 所：**横浜国立大学環境情報1号棟合同セミナー室（〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7）

**趣 旨：**我々の身の回りには、粉体を基軸とする機能性材料があふれています。現在の便利で快適な生活はこれら材料の高機能化によって成し得たものであるともいえます。例えば電子材料の高機能化により、携帯電話が飛躍的に小型化する過程を、我々は実際に目の当たりにしてきました。各種セラミックス、サーメット等の金属材料をはじめ、いわゆるソフトマテリアルと呼ばれる薬品・化粧品、ポリマーなど多岐にわたる材料において、1次粒子の物性はもちろんのこと、粒子を集積化し、その構造を制御し利用することで更なる機能性の向上を図る取組みが各分野において盛んに進められてきました。例えば、ナノ空孔に由来する分子ふるい効果や、光の波長と同スケールの繰り返し構造に由来する非線形光学特性など、粒子と同スケールの不均質構造ならびに、その界面を利用した材料やプロセスの発展には目を見張るものがあります。また、1次元構造である繊維や2次元構造である膜など形態そのものの特性を利用する試みもなされるなど、階層を織りなすような機能性を有する材料が実現しつつあります。

粉体工学会では、「不均質構造の利用と制御に関するワークショップ」が立ち上がり、情報交換が進められていきます。この機運を捉え、本シンポジウムでは広く他学術分野からの発表を募り、粒子集積構造の利用と制御に関する分野横断的な議論を通じて、その知見を普遍的なものとし、新規学術分野として体系化することを目指します。関連学協会の研究者を含めた多数の方々のご参加を希望いたします。

世話人：多々見純一（横浜国立大学）、飯村健次（兵庫県立大学）

**講演種別：**研究報告，研究速報，技術報告，技術速報，その他

**発表形式：**口頭発表

**参加費：**（先行振込扱い：7月12日（金）振込まで）

会員種別	参加登録費	懇親会費
維持会員 および賛助会員	1名無料 (2人目から10,000円)	6,000円
事業所会員，個人会員 発表者，共催機関会員	10,000円	6,000円
学生会員	5,000円	2,000円
会員外（発表者以外）	20,000円	6,000円

注1) 今年度は宿泊の手配ならびに昼食の準備を行いませんので各自でお手配ください。

注2) 7月13日以降の受付は、参加登録費および懇親会費のそれぞれに2,000円が加算されます。

(学生会員はそれぞれ1,000円の加算となります)

注3) 事業所会員は規定により1名のみ会員資格で参加できます。

注4) 参加費無料の特典利用は、先行振込期間に申し込まれた場合にのみ有効です。

注5) **参加募集は、6月14日(金)**より受付を開始いたします。その際上記料金に変更される場合がありますので  
予めご了承ください。

申込締切：[講演申込締切] 4月26日(金) → **5月17日(金)延長**

[講演要旨集原稿提出] 6月14日(金)

(申込者にフォーマットをお送りします。発表1件につきA4用紙2枚の予定。)

講演申込方法：webサイト <http://www.sptj.jp/event/natsu/> よりお申込み下さい。

注：2020年の粉体工学会誌3月号に、「夏期シンポジウム特集号」を組みます。シンポジウムで発表した内容を、論文、研究ノート、技術資料、解説等として希望される方は、改めて9月2日(月)までに最終投稿原稿を事務局にご提出下さい。投稿原稿に対しては、学会所定の手続きが取られます。